

国际
日本語
1990年—2006年
能力测试

★ 考前准备指导 ★ 基础技能训练 ★ 真题分类练习 ★ 模拟考试 ★

**1级
听解**

王鹏飞 窦硕华 编著 上山富之 主审

东华大学出版社

H360.41/33D

:1

2007

国际日本语能力测试1级

听 解

王鹏飞 窦硕华 编著

上山実之 主审

● 考前准备指导

● 基础技能训练

● 真题分类练习

● 模拟考试



東華大學出版社

图书在版编目(CIP)数据

国际日本语能力测试 1 级听解/王鹏飞, 窦硕华编著.

—上海: 东华大学出版社, 2007. 4.

ISBN 978-7-81111-217-7

I. 国... II. ①王...②窦... III. 日语-听说教学-
水平考试-自学参考资料 IV. H369.9

中国版本图书馆 CIP 数据核字(2007)第 036092 号

责任编辑: 曹晓虹

封面设计: 书衣坊

国际日本语能力测试 1 级听解

王鹏飞 窦硕华 编著

东华大学出版社出版

(上海市延安西路 1882 号 邮政编码: 200051)

电话: (021) 62379558 62373056

新华书店上海发行所发行 苏州望电印刷有限公司印刷

开本: 787×960 1/16 印张: 23 字数: 596 千字

2007 年 4 月第 1 版 2007 年 4 月第 1 次印刷

印数: 1—6 000

ISBN 978-7-81111-217-7/H·069

定价: 37.90 元(附赠 1 张超大容量 MP3 光盘)

前言

“日本语能力测试”是由日本国际交流基金和日本国际教育支援协会在世界范围内举办的日语等级考试,具有绝对的权威性,考试证书得到国内外承认。考试等级依次分为4级、3级、2级、1级。基础考试为4级,最高考试为1级。考试内容分为“文字·词汇”、“听力”、“阅读理解·语法”三个部分。本书是为1级应试者学习并准备“听力”考试而编写的。

● **编写宗旨:**对于准备参加日语能力测试的读者来说,在国内的学习环境中如何迅速有效地提高日语听力水平,是一个重要的课题。这个基本问题解决了,就能够使应试者的综合日语水平得到进一步提高,从而在日语能力测试中稳操胜券。为了解决此问题国内出现了许多提高听力考试的教材,但这些教材或是进行听力基础技能训练的,或是专门分析历年真题的,均不能达到从基础技能提高到实际操作训练一体化的目的,学生在实际操作上往往会造成精力、财力和时间上的浪费。本教程针对这一现状,将基础技能训练和真题训练融为一体,增强了系统性,提高了学习效率,可操作性强。

● **适用对象:**本教程适用于经过一定专业学习的,具有中级以上日语水平的学习者以及在校三年级以上的本、专科学生用于日语能力考试一级应试准备。也适用于有一定日语基础的有志于快速提高日语听力能力的学习者。本教程既可用于自学,也可用于在老师指导下的课堂学习。

● **特点及结构:**本教程是在总结了自90年起15年来的日语能力测试听力试卷的基础上,全面系统地分析比较了99年后的试卷,结合听力训练的特点编写的。本教程还收入了2005年和2006年的日语能力考试听力部分的真题,使学生从中了解到听力考试的最新动态。本教程包括理论指导、基础技能训练和真题训练,系统性强,效率高。通过本教程的操练,力求读者在短时间内掌握听力技能和应试对策,提高听力水平,顺利通过考试难关。

本教程分为考前准备指导、基础技能训练、真题分类练习、模拟考试四大部分。

第二部分基础技能训练和第三部分真题分类练习是本教程的核心。具体内容、特点如下:

第一部分:考前准备指导 该部分为理论指导篇。对历年日语能力听力测试的考试方法、题型变化进行了分析比较,旨在使读者对日语能力听力测试有一个较为全面的了解,并针对读者考试中容易出现的一般问题做一归纳性指导,使学生在考前准备时心中有数。

第二部分:基础技能训练 该部分为基础训练篇。以提高基础技能为目的,根据日语能力听力测试涉及到的内容、形式及特点,进行分类专项指导练习。每个单元根据各专题的特点进行了指导性归纳,有的放矢,供读者学习,并通过实题的反复操练,熟听熟记,以达到听力技能的提高。

第三部分:真题分类练习 该部分为实战前准备篇。在第二部分基础技能训练的基础上,结合1999年—2004年的日语能力测试真题,进行实战前分类准备练习,并针对听力练习时容易疲劳走神的特点,安排了记录重要词语和记录不懂词语的练习项,以提高学习效率,培养良好习惯;安排了学习要点的提示,提示读者每篇短文或对话的练习方法、理解要点和训练重点,使读者通过反复的练习,养成好的听解习惯;每部分均提供了所涉及的常用词语及设问形式,使学生学会举一反三,捕捉听解文的要点,训练耳朵对关键词语的敏感程度,以达到听解能力的综合提高。录音原文及答案附在真题的下一页,使读者能够及时核对,趁热打铁,找出问题,再度练习。

第四部分:模拟考试 该部分为实战篇。本篇按照日语能力测试的难度和篇幅以及答题形式,安排两篇模拟考试(包括2005年考试真题),以检查读者经过本教程的学习所达到的效果,增强迎战信心,做好迎战准备。

除上述四部分外,本教程还安排了脑筋急转弯,插页在四个部分之中,使读者在学习后放松的同时,轻松地掌握日语中的一些特殊表达和一些难度较大的弯弯绕表示方法。

● 使用说明:

第一部分 考前准备指导安排在本教程学习之前和考试前阅读。

第二部分 基础技能训练按照每一部分的目的、要求进行反复操练,熟听熟记常用说法和要点。该部分录音原文的重点部分均以黑体字提示,便于学生掌握重点。

第三部分 真题分类练习中出现的各种记录形式,并非实际的考试形式,而是本教程为提高读者简单、快速记录听力要点,迅速发现问题的能力而设置的。认真做好要点记录对学会快速捕捉要点大有裨益。例:

● 聞き取った言葉で大切なものをメモしてください。

● 聞き取った言葉の中で意味のわからないものをメモしてください。

答案选择按照日语能力测试考试的答题形式采取 4 选 1。

有图部分例:

正しい	①	②	●	④
-----	---	---	---	---

无图部分例:

正しい	①	②	●	④
正しくない	●	●	③	●

录音原文重点部分为黑体,原文后均标有真题考试的年号和题号。

例:[2002 年-II-2] 为 2002 年日语能力测试题听力试题第二部分第二题。

学习要点提示「ポイント」为每道题的重要提示,务必重点阅读搞懂。

重听部分读者可根据本人的水平自行安排听练次数。

第四部分 模拟考试完全按照日语能力测试形式安排,考试内容均在磁带中,读者在答题纸上答题,然后核对标准答案得分。

脑筋急转弯是本教程安排的趣味项目,读者可根据喜好自行安排。

限于作者水平,书中有不妥和疏漏之处敬请读者批评指正。本书得到罗萃萃老师的大力支持,在此深表感谢。

编者

2007 年 2 月

目 录

第一部分 考前准备指导	1
第1节 日语能力测试概述及听力题型结构分析.....	1
第2节 听力训练注意事项及基本解题技巧.....	6
第二部分 基础技能训练	11
第1节 口语音变及约音训练	11
听力原文及答案	15
第2节 语调辨析训练	18
听力原文及答案	23
第3节 口语表达形式训练	27
听力原文及答案	30
第4节 模糊表述形式辨析训练	35
听力原文及答案	38
第5节 授受、使役、被动语态训练	43
听力原文及答案	45
第6节 选择、粘贴有用信息训练.....	50
听力原文及答案	52
第7节 情景场面辨析训练	56
听力原文及答案	59
第8节 信息推断训练	66
听力原文及答案	69
第9节 排除干扰项训练	74
听力原文及答案	76
第三部分 真题分类练习	81
第1节 有图部分	81

1. 人物外貌、体态、服饰	81
2. 动植物形态	94
3. 物体外观、形态	100
4. 日期、时间	112
5. 路径、先后顺序	122
6. 图形、标志	137
7. 图表	149
8. 位置	160
9. 数字	170
10. 物品选择	182
第2节 无图部分	193
1. 原因、理由	193
2. 数字、时间	211
3. 行为	222
4. 事物比较	235
5. 委婉表述	248
6. 快速反应	257
7. 广播、发言	268
8. 变换说法	281
9. 总结归纳	295
 第四部分 模拟考试	 304
听力原文及答案	318
 【附录】 2006年1级听解真题	 342
听力原文及答案	346
 参考书目	 360

第一部分

考前准备指导

第1节 日语能力测试概述及听力题型结构分析

1. 能力考试各级别试卷结构与能力要求

级别	试 卷 结 构			能 力 要 求
	类别	时间	分数	
一 级	文字·词汇	45 分	100 分	要求应试者学习日语时间在 900 个小时左右,掌握日语的高级语法,2000 字左右的汉字,10000 个左右的词汇,能满足社会交往、大学学习及基础研究的需要。
	听 解	45 分	100 分	
	读解·语法	90 分	200 分	
	合 计	180 分	400 分	
二 级	文字·词汇	35 分	100 分	要求应试者学习日语时间在 600 个小时左右,学完中级日语课程,掌握较高级语法,1000 字左右的汉字,6000 个左右的词汇,具有一般的听、说、读、写的能力。
	听 解	40 分	100 分	
	读解·语法	70 分	200 分	
	合 计	145 分	400 分	
三 级	文字·词汇	35 分	100 分	要求应试者学习日语时间在 300 个小时左右,学完初级日语课程,掌握基本语法,300 字左右的汉字,1500 个左右的词汇,具有一般会话及读写简单文章的能力。
	听 解	35 分	100 分	
	读解·语法	70 分	200 分	
	合 计	140 分	400 分	
四 级	文字·词汇	25 分	100 分	要求应试者学习日语时间 150 个小时左右,学完初级日语课程的前半部分,掌握初级语法,100 字左右的汉字,800 个左右的词汇,能够进行简单的对话及读写浅易短小的文章。
	听 解	25 分	100 分	
	读解·语法	50 分	200 分	
	合 计	100 分	400 分	

成绩合格判定标准:一级考试答对 70%(即 280 分)以上为合格;二级、三级和四级考试答对 60%(即 240 分)以上为合格。答案正确得分。答案不正确不得分但不倒扣分。

2. 历年听力部分试题统计

年份	问题 1	问题 2	问题 3	试题总量	平均字数	播放字节/分钟
1990	10	6	8	24	313	203
1991	8	11	10	29	280	217
1992	10	10	10	30	260	208
1993	9	7	12	28	324	243
1994	10	8	9	27	350	254
1995	10	16		26	355	249
1996	11	15		26	344	241
1997	14	13		27	335	243
1998	15	17		32	243	207
1999	16	18		34	218	196
2000	16	17		33	226	198
2001	17	17		34	230	207
2002	17	18		35	221	204
2003	17	16		33	249	218
2004	14	16		30	287	230
2005	15	15		30	257	206
合计	209	220	49	478	281	224

日语能力一级听力试题自 1995 年起由原来的三类题型改成了两类,即问题 I (有图部分)和问题 II(无图部分)。16 年的平均题量为 29.9 题,比二级平均题量 28.4 题多 1.5 题,题量最少的是 1990 年(24 题),最多的是 2002 年(35 题)。从每年的平均字数来看大致呈下降趋势,字数最多的是 1995 年(355 字),最少的是 1999 年(218 字),2004 年、2005 年一级每年比二级多三道题,一级 40 分钟考试时间播放的字节为 8,704 字左右,平均每分钟为 217 字节,而二级播放字节为 6,830 字左右,平均每分

钟播放 171 字节,一级听力的语速比二级提高了 21%。每分钟信息量多 46 字节。

3. 日语能力听力考试涉及范围及特点

日语能力考试内容涉及范围很广,本教程将日语能力考试问题 I 有图部分分为十类,问题 II 无图部分分为九类。同时将 1999 年—2005 年各种题型的分布情况作了统计。

	分 类	99	00	01	02	03	04	05	合计
	有图部分								
	人物外貌、体态、服饰	1	0	3	2	3	2	3	14
	动植物形态	2	0	1	1	0	1	1	6
	物体外观、形态	0	2	2	4	3	0	2	13
	时间、日期	1	2	2	1	1	2	1	10
	路径、先后顺序	1	3	3	2	4	0	0	13
	图形、标志	1	1	1	2	2	2	1	10
	图 表	2	2	2	1	1	1	1	10
	位 置	3	2	1	2	0	1	4	13
	数 字	0	2	1	1	3	4	1	12
	物品选择	5	2	1	1	0	1	1	11
	合 计	16	16	17	17	17	14	15	112
	无图部分								
	原因、理由	3	1	2	4	2	3	5	20
	数字、时间	0	2	1	1	2	3	0	9
	行 为	2	2	1	3	2	2	1	13
	事物比较	3	2	3	1	2	1	1	13
	委婉表述	2	2	3	1	0	1	1	10
	快速反应	3	2	1	3	2	0	1	12
	广播、发言	2	1	2	1	3	2	1	12
	变换说法	3	4	3	1	1	2	2	16
	总结归纳	0	1	1	3	2	2	3	12
	合 计	18	17	17	18	16	16	15	117

由此可以看出,有图部分中除了动植物形态题量(6个)较少外,其他类型题量较为平均,在12个左右。时间、路径、图表和数字题是问题I中较易失分的题目,此类型的题目要训练反应速度,同时要特别熟悉有关词汇。

无图部分内容相互渗透较多,分类较难,从现有分类来看,表示原因理由的题量最多。这类题目从设问方式来看分为三类:

1. 直接询问理由:~のはどうして(なぜ)ですか。どうして~しますか。なぜ~しますか。
2. 询问正文中没有提到的理由:理由として、言っていないことはどれですか。~しない理由は何ですか。
3. 询问众多理由中最主要的理由:“一番の理由は何ですか”。

第一类设问形式较为简单,第二类要注意设问中的否定,要从选择项中排除文中提到的理由,找出没有提及的理由。第三类要从文中寻找最主要的理由。听解原因理由试题的难点在于如何排除干扰项,寻找关键词句。表中我们可以发现无图部分也有表示时间、数字的题目,因为没有图表的提示,所以没有有图部分容易理解,但内容一般比有图题简单,解数字题一定要反应快思路跟得上。日语中委婉表述很多。考试涉及的题目经常是说话人语义未尽,要求考生去揣摩其弦外之音。快速反应类题目有两种形式:一种是要求听者紧跟录音迅速反应,另一种则是内容或答案奇巧,需要脑筋急转弯的。广播发言类题目往往用词较难(音读的汉语词汇多)、定语句较长、内容涵盖面较广。有时询问的主题就是一种新鲜事物,它的名称会以生词的形式在题目中多次出现,听解时不要被生词所干扰,应从解释中对其作出判断。变换说法与总结归纳类题目在解说中找不到现成的答案,解答变换说法类题目需要听懂关键句,再从选项找出同义可以替换的答案。解答总结归纳类题目需要对全文进行组合整理,对其大意进行概括。

试题的每种类型,都有其明显的特点,但具体到每个题目来看,其特点的显示可能是若干类型的、相互交融的,每道题既有共性又有特性。

4. 日语能力听力考试变化趋势

总的来看,题目总量每年变化不大,每题字数呈减少趋势,题目越短,给的信息量越少,解题难度就越大。变化趋势有以下几个方面:

1. 不听细节,只笼统听懂大意,即可解的题目减少。

过去的问题III均是通过掌握大意进行推断的题目,1995年开始取消了问题III。

2. 需要对信息进行仔细分辨的题目增加。

信息相互交错,干扰项多,询问题目细节,确认内容是否真正理解的题目几乎

占了全部。应加强细节辨析训练。

3. 增加了较难的词汇。

a) 增加了《日语能力考试出题基准》以外的词汇。

b) 增加了《出题基准》内词汇的音读复合词。

例如：前年 前面 逆効果

4. 选择项难度加大。

a) 选择项中常常出现难以区分辨别的项目。

b) 有图部分明显变难,需要多听多练。

クイズ(1)

1. 男：てっきりだまされたと思った。

1. 男の人は「だまされた」という意味です。

2. 男の人は「だまされなかった」という意味です。

3. 男の人は「だました」という意味です。

2. 男：早く山田を帰らせてくれ。

1. 帰るのは男の人です。

2. 山田さんはほかの人を帰らせます。

3. 帰るのは山田さんです。

4. 男の人は山田さんに「帰れ」といいます。

3. 男：ぜひやってみてくれないか。

1. 男の人は「やれない」といっています。

2. 男の人は「やらなくてくれ」といっています。

3. 男の人は「やりなさい」といっています。

4. 男の人は「やるな」といっています。

(答案见 14 页)

第2节 听力训练注意事项及基本解题技巧

每年日语能力考试国内考生一级的听力平均分在40分左右(满分100分),而在日本的留学生往往都能及格。这说明没有日语的环境,没有对听力进行专门训练,光靠背单词语法,是无法提高听力水平的。

听力训练需要精听和泛听结合。精听选一天中效率最高的时间,把听的内容原原本本写下来,注意精听时一定要耳、脑、手同时工作,边听、边想、边记录,听到的东西不明白也不要紧,关键是音要准。首先要注意辨音训练,过变音关。另外,养成边听边写的习惯对听解能力提高非常重要,尤其对数字、关键词一定要记下来。

在日常交流中,我们并非需要听懂说话者的每一个词,我们只需要抓住有用信息即可。听力考试也是这样。考试前的强化练习要找有选择项的题目练,带着问题听,学会有选择的听,培养耳朵对关键词、对有用信息的敏感度。另外,要训练根据所听内容来判别图形及各种表示之间关系的能力。

精听费时、费神,每天听1小时就够了。至于泛听,就轻松多了,可以听歌、听日剧、听新闻;边做其他事边听;也可以枕着日文入眠,权当是催眠曲。主要是培养语感,同时训练耳朵对有用信息的敏感度。

听力考试不同于其他考试,一般来说,听解部分的问题并不复杂,但时效性较强,录音放完了,没听清楚,不可能再放一边,所以要求考生首先必须有良好的心态,保持清醒的头脑和高度的注意力,同时要有扎实的基本功和适当的听力解题技巧。平常多作一些同速度的听力练习,按照本教程要求认真进行真题练习和模拟考试。

做有图题时,要学会事先审图,许多参加过考试的人都认为听力内容并不复杂,但图形、画面及图表的答题方式不适应。学会看图,可以预先从图表中得到许多信息,锁定听解范围,提高听力效率。

除此之外,听解时需要关注的有以下几个方面:1. 设问的题眼,2. 正文的问题点,3. 选项的考点。

设问是听解中第一道信息源,设问一般分为两次,一次出现在正文开始之前,一次出现在正文结束之后,一般来说第二次设问只是对第一次设问的简单重复,但有的时候,第二次设问会变换说法或补充新的信息。听懂设问才能带着问题听正文,达到事半功倍的效果。设问主要注意以下几个方面:

1. 关注设问的对象

例:1. お店でお客様と店員が話しています。お客様はどうしますか。

2. 男の人と女の人が話しています。女の人は天気について何と言っていますか。

3. 男の人と女の人が話しています。二人はどこに泊まりますか。

例1、2分别问的是“お客さん”和“女の人”的行为,而不是“店員”和“男の人”的行为,例3问的是“二人”的行为。例1、2听正文时只关注“お客さん”和“女の人”的行为即可,而不必要受“店員”和“男の人”行为叙述的影响。

2. 关注设问限定时间

例:1. 来月は何日間働く予定ですか。

2. 男の人と女の人が話しています。鈴木さんは昨日何と言いましたか。

例1问的是“来月”例2问的是“昨日”听正文时可排除其他时间段所述内容的干扰。

3. 关注设问是肯定还是否定

例:1. その店の良くないところは何ですか。良くないところです。

2. 理由として、言っていないことはどれですか。

一般设问多为肯定内容,由于人们习惯于正相思维,往往容易忽略设问中的否定形式,听解时要特别注意。

4. 关注设问有几项

例:1. 女の人はいつ、誰に電話をしましたか。

2. 男の人は何時、どうしますか。

3. 会議は何時から何時までですか。

4. 何と何が足りませんか。

一般设问仅为一项,但有时会出现多项设问,听解正文时不可偏漏任何一项。

5. 关注设问中的关键词

设问中的关键词一般为常见的特殊疑问词如:“こ、そ、あ、ど”系中“ど”开头的词以及“だれ”“何”“何時”等疑问词,另外还有一些限定疑问内容的词,如下例中画线部分。

例:1. 内容に合っているのはどのグラフですか。

2. 田中さんに対してどんな気持ちですか。

3. 二人が決めたのはどの家ですか。

4. 言いたいことはどんなことですか。

5. 試験についてどう思っていますか。

6. 一番の理由は何ですか。

6. 关注设问中常出现的句型

设问中涉及到的句型很多,下面是日语能力考试中常见的设问句型,平时要注意积累。

1. 被动语态

例: ◆ 女の人は鈴木先生に何と言われましたか。

◆ 社長に怒られたらどうしたらいいですか。

◆ 男の人はなぜ叱られているのですか。

2. 可能语态

例: ◆ ～ことはできますか。

◆ どうして合格できませんでしたか。

◆ 二人はどうして会えませんでしたか。

3. 授受关系

例: ◆ 買ったものはいつ配達してもらいますか。

◆ 隣の人が何をくれました。

4. 愿望、打算

例: ◆ 女の人はどの写真がほしいと言っていますか。

◆ どんな形を画いてほしいですか。

◆ 取ってほしいものはどれですか。

◆ 二人は親にどうしてほしいと言っていますか。

◆ 何になりたいと言っていますか。

◆ 女の人は1000万をどう使いたいと言っていますか。

◆ 何日間働く予定ですか。

5. 結果、決定

例: ◆ どのアパートにしましたか。

◆ 部屋はどうなりますか。

◆ どうなると言っていますか。

◆ どのように変化しましたか。

◆ 父親はどうして子供とよく遊ぶようになりましたか。

◆ 来月の会議はいつになりましたか。

◆ 男の人は女の人に何をするように言いましたか。

◆ どのように植えますか。

6. 选择

例: ◆ どの形ですか。

◆ どれですか。

◆ 誰ですか。

◆ どの置き方ならいいですか。

◆ いつもの年と比べて、明日の気温はどうですか。

◆ どこがいいと言っていますか。

◆ ~のほうがいいですか。

◆ ~ばいいですか。

7. 其他

例: ◆ どの絵について話していますか。

◆ どれについて説明していますか。

◆ ~について、正しいものはどれですか。

◆ どんなかっこうをするのがいいと言っていますか。

◆ どこにありますか。

◆ 本を何冊返さなければなりませんか。

◆ ~に対して、どう思っていますか。

◆ 何を最初に解決すべきだと言っていますか。

◆ ~のために~と言っていますか。

◆ ~と考える人が一番多いですか。

◆ ~はどうして楽しそうではないのですか。

◆ 女の方は子供が誰に似ていると思っていますか。

◆ 二人はいつ会いますか。

正文是听解内容的主要部分,听解时需注意以下几点:

- 1 排除干扰项、抓住关键词;
- 2 学会归纳总结、提炼有用信息;
- 3 注意梳理关系、推断结论;
- 4 关注省略表达、领会弦外之音。

正文中常常会出现干扰项。干扰项越多解题越困难。要排除干扰项,必须能够抓住关键词。抓住关键词就得到了解题的重要信息。许多正文并不直接说出结论而需要听者提炼有用信息进行总结归纳,或梳理关系粘贴有用信息推断出结论。另外在听解正文时还需要特别关注被动、敬语、授受关系、口语表达形式、省略表达以及其他与日本文化风俗有关的特殊表达形式。本教程的第二部分和第三部分将会分别着重练习。

选择项是听力内容的重要组成部分。问题Ⅰ的选择项以图表形式出现,较为直观。要学会观察,快速发现各图的不同点或提供的信息范围。问题Ⅱ的选择项以录音形式出现。要注意选项与正文的关系。选择项语言的表述一般会避免和正文相同。其变换的手段有以下几种:

1 **用同义词改变说法。**如正文中用“いつもの年より気温が高めでしたから”选项变换为“いつもより暖かったから”正文中用“なんか覗かれているみたいです”选项变换为“見られているような気がします”。